【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成17年5月12日(2005.5.12)

【公開番号】特開2002-251366(P2002-251366A)
【公開日】平成14年9月6日(2002.9.6)
【出願番号】特願2001-355016(P2001-355016)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０６Ｆ　13/10
　Ｇ０６Ｆ　 9/445
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　13/10　　３２０Ａ
　Ｇ０６Ｆ　 9/06　　６１０Ｂ
　Ｇ０６Ｆ　 9/06　　６１０Ｄ
　Ｇ０６Ｆ　 9/06　　６１０Ｃ
　Ｇ０６Ｆ　 9/06　　６１０Ｌ

【手続補正書】
【提出日】平成16年6月29日(2004.6.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　周辺機器と通信する情報処理装置であって、
　前記情報処理装置におけるドライバのセットアップ状況を取得するセットアップ情報取得手段と、
　前記情報処理装置にセットアップされているドライバに対応する周辺機器が存在するか否かを判定する判定手段と、
　前記判定手段により前記ドライバに対応する周辺機器が存在しないと判定された場合に、前記ドライバを削除するドライバ削除手段とを備えたことを特徴とする情報処理装置。
【請求項２】
　前記判定手段は、出力先ポートに問い合わせて応答があるか否かにより周辺機器が存在するか否かを判定することを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項３】
　前記ドライバ削除手段によるドライバの削除の実行を指示する指示手段を備え、前記ドライバ削除手段は、前記指示手段による一回の指示に応じて、複数のドライバの削除を実行することを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項４】
　前記ドライバ削除手段により前記ドライバを削除する前に、削除を実行するか否かをユーザに確認する確認手段を備えたことを特徴とする請求項３に記載の情報処理装置。
【請求項５】
　所望のドライバの削除の禁止設定の指示を行う削除禁止設定指示手段を備えたことを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項６】
　前記情報処理装置は外部情報処理装置と通信するものであり、
　前記判定手段が、前記ドライバに対応する周辺機器が存在しないと判断し、前記周辺装置がローカルデバイスである場合に、前記外部情報処理装置にドライバを削除させるドラ

イバ削除通知を行うドライバ削除通知手段をさらに備えたことを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。
【請求項７】
周辺機器と通信する情報処理装置における情報処理方法であって、
前記情報処理装置におけるドライバのセットアップ状況を取得するセットアップ情報取得手順と、
前記情報処理装置にセットアップされているドライバに対応する周辺機器が存在するか否かを判定する判定手順と
前記判定手順により前記ドライバに対応する周辺機器が存在しないと判定された場合に、前記ドライバを削除するドライバ削除手順とを有することを特徴とする情報処理方法。
【請求項８】
前記判定手順では、出力先ポートに問い合わせて応答があるか否かにより周辺機器が存在するか否かを判定することを特徴とする請求項７に記載の情報処理方法。
【請求項９】
前記ドライバ削除手順において、ドライバの削除の実行を指示する指示手順を行い、前記ドライバ削除手順では、前記指示手順による一回の指示に応じて、複数のドライバの削除を実行することを特徴とする請求項７に記載の情報処理方法。
【請求項１０】
前記ドライバ削除手順で前記ドライバを削除する前に、削除を実行するか否かをユーザに確認する確認手順を有することを特徴とする請求項７に記載の情報処理方法。
【請求項１１】
所望のドライバの削除の禁止の設定を指示を行う削除禁止設定指示手順を有することを特徴とする請求項７に記載の情報処理方法。
【請求項１２】
前記情報処理装置は外部情報処理装置と通信するものであり、
前記判定手順で前記ドライバに対応する周辺機器が存在しないと判断され、前記周辺装置がローカルデバイスである場合に、前記外部情報処理装置にドライバを削除させるドライバ削除通知を行うドライバ削除通知手順をさらに有することを特徴とする請求項７に記載の情報処理方法。
【請求項１３】
周辺機器と通信する情報処理装置において実行される制御プログラムであって、
前記情報処理装置におけるドライバのセットアップ状況を取得するセットアップ情報取得処理と、
前記情報処理装置にセットアップされているドライバに対応する周辺機器が存在するか否かを判定する判定処理と、
前記判定処理により前記ドライバに対応する周辺機器が存在しないと判定された場合に、前記ドライバを削除するドライバ削除処理とを前記情報処理装置において実行させることを特徴とする制御プログラム。
【請求項１４】
周辺機器並びに外部情報処理装置と通信する情報処理装置であって、
セットアップされているドライバに対応する周辺機器が存在するか否かを判定する判定手段と、
前記判定手段により前記ドライバに対応する周辺機器が存在しないと判定された場合に、前記外部情報処理装置に前記周辺装置に対応するドライバを削除させるドライバ削除通知を行うドライバ削除通知手段とを備えたことを特徴とする情報処理装置。
【請求項１５】
前記外部情報処理装置におけるドライバのセットアップ状況を取得するセットアップ情報取得手段をさらに備え、
前記ドライバ削除通知手段は、前記セットアップ情報に基づいて、ドライバの削除通知を行うことを特徴とする請求項１４に記載の情報処理装置。

【請求項１６】
前記ドライバ削除通知手段によるドライバの削除通知の実行を指示する指示手段を備えたことを特徴とする請求項１４に記載の情報処理装置。
【請求項１７】
前記ドライバ削除通知手段は、前記指示手段による一回の指示に応じて、前記外部情報処理装置に複数のドライバを削除させるドライバ削除通知を行うことを特徴とする請求項１６に記載の情報処理装置。
【請求項１８】
前記ドライバ削除通知手段により前記ドライバの削除を通知する前に、削除を実行するか否かをユーザに確認する確認手段を備えたことを特徴とする請求項１４に記載の情報処理装置。
【請求項１９】
所望のドライバの削除の禁止を設定する指示が可能な削除禁止設定指示手段を備えたことを特徴とする請求項１４に記載の情報処理装置。
【請求項２０】
前記判定手段が、前記ドライバに対応する周辺機器が存在しないと判定し、前記周辺機器がローカルデバイスである場合に、前記外部情報処理装置にドライバの削除を行わせるドライバ削除通知を行うことを特徴とする請求項１４に記載の情報処理装置。
【請求項２１】
周辺機器並びに外部情報処理装置と通信する情報処理装置における情報処理方法であって、
セットアップされているドライバに対応する周辺機器が存在するか否かを判定する判定手順と、
前記判定手順により前記ドライバに対応する周辺機器が存在しないと判定された場合に、前記外部情報処理装置に前記周辺装置に対応するドライバを削除させるドライバ削除通知を行うドライバ削除通知手順とを有することを特徴とする情報処理方法。
【請求項２２】
前記外部情報処理装置におけるドライバのセットアップ状況を取得するセットアップ情報取得手順をさらに有し、
前記ドライバ削除通知手順は、前記セットアップ情報に基づいて、ドライバの削除通知を行うことを特徴とする請求項２１に記載の情報処理方法。
【請求項２３】
前記ドライバ削除通知手順によるドライバの削除の通知を指示する指示手順を有することを特徴とする請求項２１に記載の情報処理方法。
【請求項２４】
前記ドライバ削除通知手順は、前記指示手順による一回の指示に応じて、複数のドライバの削除を前記外部情報処理装置に実行させるドライバ削除通知を行うことを特徴とする請求項２３に記載の情報処理方法。
【請求項２５】
前記ドライバ削除通知手順により前記ドライバ削除通知を行う前に、前記外部情報処理装置に削除を実行させるか否かをユーザに確認する確認手順を有することを特徴とする請求項２１に記載の情報処理方法。
【請求項２６】
所望のドライバの削除の禁止を設定する指示が可能な削除禁止設定指示手順を有することを特徴とする請求項２１に記載の情報処理方法。
【請求項２７】
前記判定手順で前記ドライバに対応する周辺機器が存在しないと判定し、前記周辺機器がローカルデバイスである場合に、前記外部情報処理装置にドライバの削除を行わせるドライバ削除通知を行うことを特徴とする請求項２１に記載の情報処理方法。
【請求項２８】

周辺機器並びに外部情報処理装置と通信する情報処理装置において実行される制御プログラムであって、
セットアップされているドライバに対応する周辺機器が存在するか否かを判定する判定処理と、
前記判定処理により前記ドライバに対応する周辺機器が存在しないと判定された場合に、前記外部情報処理装置に前記周辺装置に対応するドライバを削除させるドライバ削除通知を行うドライバ削除通知処理とを前記情報処理装置に実行させることを特徴とする制御プログラム。
【請求項２９】
周辺装置並びに複数の外部情報処理装置と通信する情報処理装置において、
前記情報処理装置に接続されたローカルデバイスの接続状況を認識する認識手段と、
前記認識手段により認識されたローカルデバイスの接続状況により、外部情報処理装置から前記ローカルデバイスを使用できない場合に、外部情報処理装置に対して前記ローカルデバイスに対応するドライバの削除通知を行う通知手段とを備えたことを特徴とする情報処理装置。
【請求項３０】
前記通知手段は、複数の外部情報処理装置に対して一斉にドライバの削除通知を行うことを特徴とする請求項２９に記載の情報処理装置。
【請求項３１】
前記認識手段は、前記ローカルデバイスが存在するか否かを認識する機能、及び、前記ローカルデバイスが共有設定されているか否かを認識する機能を備えたことを特徴とする請求項２９に記載の情報処理装置。
【請求項３２】
前記通知手段は、前記認識手段により前記ローカルデバイスが存在しないと認識された場合、又は、前記ローカルデバイスが共有設定されていないと認識された場合に、前記ドライバの削除通知を行うことを特徴とする請求項３１に記載の情報処理装置。
【請求項３３】
前記複数の情報処理装置から受信したセットアップ情報に基づいて、前記ローカルデバイスを共有設定している前記複数の情報処理装置を認識することを特徴とする請求項２９に記載の情報処理装置。
【請求項３４】
周辺装置並びに複数の外部情報処理装置と通信する情報処理装置における情報処理方法において、
前記情報処理装置に接続されたローカルデバイスの接続状況を認識する認識手順と、
前記認識手順により認識されたローカルデバイスの接続状況により、外部情報処理装置から前記ローカルデバイスを使用できない場合に、外部情報処理装置に対して前記ローカルデバイスに対応するドライバの削除通知を行う通知手順とを有することを特徴とする情報処理方法。
【請求項３５】
前記通知手順は、複数の外部情報処理装置に対して一斉にドライバの削除通知を行うことを特徴とする請求項３４に記載の情報処理方法。
【請求項３６】
前記認識手順は、前記ローカルデバイスが存在するか否かを認識する手順、及び、前記ローカルデバイスが共有設定されているか否かを認識する手順を有することを特徴とする請求項３４に記載の情報処理方法。
【請求項３７】
前記通知手順は、前記認識手順により前記ローカルデバイスが存在しないと認識された場合、又は、前記ローカルデバイスが共有設定されていないと認識された場合に、前記ドライバの削除通知を行うことを特徴とする請求項３６に記載の情報処理方法。
【請求項３８】

前記複数の情報処理装置から受信したセットアップ情報に基づいて、前記ローカルデバイスを共有設定している前記複数の情報処理装置を認識することを特徴とする請求項３４に記載の情報処理方法。

【請求項３９】

周辺装置並びに複数の外部情報処理装置と通信する情報処理装置における制御プログラムにおいて、

前記情報処理装置に接続されたローカルデバイスの接続状況を認識する認識処理と、

前記認識処理により認識されたローカルデバイスの接続状況により、外部情報処理装置から前記ローカルデバイスを使用できない場合に、外部情報処理装置に対して前記ローカルデバイスに対応するドライバの削除通知を行う通知処理とを前記情報処理装置に実行させることを特徴とする制御プログラム。

【請求項４０】

外部ネットワークを介してドライバの指定を含むドライバの削除通知を入力する入力手段と、

前記削除通知が入力された場合に、指定されたドライバを削除するドライバ削除手段とを備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項４１】

前記ドライバ削除手段により前記ドライバを削除する前に、前記ドライバの削除を実行するか否かをユーザに確認する確認手段を備えたことを特徴とする請求項４０に記載の情報処理装置。

【請求項４２】

所望のドライバの削除の禁止を設定する指示が可能な削除禁止設定指示手段を備えたことを特徴とする請求項４０に記載の情報処理装置。

【請求項４３】

前記削除禁止設定指示手段において、ドライバ削除の禁止が指示されている場合に、前記ドライバ削除手段がドライバを削除しないように制御する制御手段を備えたことを特徴とする請求項４２に記載の情報処理装置。

【請求項４４】

外部情報処理装置と通信して、セットアップ情報の収集を行う収集手段を備えたことを特徴とする請求項４０に記載の情報処理装置。

【請求項４５】

外部情報処理装置からの要求に応答して、セットアップ情報を返送することを特徴とする請求項４３に記載の情報処理装置。

【請求項４６】

前記削除通知で指定されたドライバが情報処理装置にセットアップされているか否かを判断する判断手段をさらに備え、

前記ドライバ削除手段は、前記判断手段により指定されたドライバがセットアップされていない場合には、前記削除通知を無視することを特徴とする請求項４０に記載の情報処理装置。

【請求項４７】

外部ネットワークを介してドライバの指定を含むドライバの削除通知を入力する入力手順と、

前記削除通知が入力された場合に、指定されたドライバを削除するドライバ削除手順とを有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項４８】

前記ドライバ削除手順により前記ドライバを削除する前に、前記ドライバの削除を実行するか否かをユーザに確認する確認手順を有することを特徴とする請求項４７に記載の情報処理方法。

【請求項４９】

所望のドライバの削除の禁止を設定する指示が可能な削除禁止設定指示手順を有するこ

とを特徴とする請求項４７に記載の情報処理方法。
【請求項５０】
前記削除禁止設定指示手順において、ドライバ削除の禁止が設定されている場合に、前記ドライバ削除手順ではドライバを削除しないように制御する制御手順を有することを特徴とする請求項４９に記載の情報処理方法。
【請求項５１】
外部情報処理装置と通信して、セットアップ情報の収集を行う収集手順を有することを特徴とする請求項４７に記載の情報処理方法。
【請求項５２】
外部情報処理装置からの要求に応答して、セットアップ情報を返送することを特徴とする請求項５１に記載の情報処理方法。
【請求項５３】
前記削除通知で指定されたドライバが情報処理装置にセットアップされているか否かを判断する判断手順をさらに有し、
前記ドライバ削除手順は、前記判断手順により指定されたドライバがセットアップされていない場合には、前記削除通知を無視することを特徴とする請求項４７に記載の情報処理方法。
【請求項５４】
外部ネットワークを介してドライバの指定を含むドライバの削除通知を入力する入力処理と、
前記削除通知が入力された場合に、指定されたドライバを削除するドライバ削除処理とを情報処理装置に実行させることを特徴とする制御プログラム。
【請求項５５】
周辺機器並びに第一の情報処理装置並びに第二の情報処理装置を含むネットワークシステムであって、
前記第一の情報処理装置にセットアップされているドライバに対応する周辺機器が存在するか否かを判定する判定手段と、
前記判定手段により前記ドライバに対応する周辺機器が存在しないと判定された場合に、前記第二の情報処理装置に前記周辺装置に対応するドライバを削除させるドライバ削除通知を行うドライバ削除通知手段と、
ネットワークを介して前記ドライバの削除通知を前記第二の情報処理装置に入力する入力手段と、
前記削除通知が入力された場合に、指定されたドライバを削除するドライバ削除手段とを備えたことを特徴とするネットワークシステム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
【課題を解決するための手段】
上記課題を解決するための手段として、本発明の情報処理装置について述べると、本発明の情報処理装置は、周辺機器と通信する情報処理装置であって、前記情報処理装置におけるドライバのセットアップ状況を取得するセットアップ情報取得手段と、前記情報処理装置にセットアップされているドライバに対応する周辺機器が存在するか否かを判定する判定手段と、前記判定手段により前記ドライバに対応する周辺機器が存在しないと判定された場合に、前記ドライバを削除するドライバ削除手段とを備えた点に特徴を有する。